

器材・薬剤からみる 歯内療法のすぐれモノ

【編集委員】

古澤成博 東京歯科大学 歯内療法学講座
 中田和彦 愛知学院大学歯学部 歯内治療学講座
 阿部 修 東京都・平和歯科医院

詳しい
情報は
こちら

ツール選びの羅針盤！ 良好な予後を目指して！

近年の歯内療法における器材・薬剤の進歩は著しく、さまざまな製品が登場している。しかし、選択肢が増えたことで、どの製品を選べばよいのかの判断が難しくなっていないだろうか。本増刊号では、歯内療法に用いる器材・薬剤にスポットをあて、製品ごとに基本術式や適応、使用時のポイントをスペシャリストが徹底解説。ツール選びはもちろん、日常臨床のレベルアップにも繋がる一冊です。

Contents

第1章 診断用機器

- 歯内療法に役立つ歯科用コンビームCT(CBCT)専用機 代表機種の特性
- 次世代歯科用CBCT複合機 Veraview X800 —ライバルは専用機 他

第2章 治療用機器

- スタンダードになりつつある歯科用マイクロスコープを用いた歯科治療
- 歯科用顕微鏡のパイオニア Carl Zeiss社製歯科用顕微鏡 他

第3章 治療用薬剤

- 歴史的研究にみる各種水酸化カルシウム系剤(材)品のヒト歯髄反応
- リバスクラリゼーション(Regenerative Endodontics)における水酸化カルシウム製剤の応用 他

第4章 治療用材料

- 根管充填材総論 代表的な製品の特性
- イニシャルトリートメントからアドバンストまで! ニシカキナルシーラーBG 他



A4判変型・196頁・オールカラー
本体5,400円+税